

～ for the healing art of the 21st century ～

# つるかめクリニック ニュース

つるかめクリニック広報誌

2022  
1月発行

第 **3** 号

## 新春座談会

～ 2022年のつるかめ会 ～

## クリニックのご紹介

- ・新宿つるかめクリニック
- ・ミラザ新宿つるかめクリニック
- ・小金井つるかめクリニック

## 人間ドックとは？

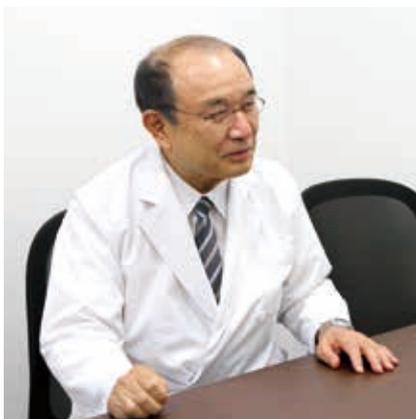
- 外来のご紹介
- 外来実績他



# 新春座談会

## ～ 2022年のつるかめ会 ～

新しい年を迎え、私たちつるかめ会の現状や目指していく姿について、医療法人社団つるかめ会・西元慶治理事長、新宿つるかめクリニック・門前幸志郎院長、小金井つるかめクリニック・石橋史明院長、ミラザ新宿つるかめクリニック・杉原一明院長の4人で語り合いました。



西元理事長

あけましておめでとうございます。2022年を迎え、つるかめ会も設立から34年を迎えるところです。

1988年の創立当初は65坪と小さなクリニックからのスタートでした。今では新宿本院が約470坪。13年を迎える小金井も床面積を増床し約290坪。4年前に新宿駅東口に開設したミラザ新宿も150坪あります。トータルでは約900坪まで規模を拡大することができました。本当に受診者やお取引先の皆様のお陰だと感謝しております。改めて、お礼を申し上げたいと思います。

### つるかめ会、そして各クリニックの特徴

#### — 西元理事長

さて、つるかめ会では理念として「当たり前の医療を当たり前」にやっていく」ということを掲げていますが、実はこれはそう簡単ではありません。医療機関は何のために医療サービスを提供しているか、よく考えなければいけません。最終的には、受診された方の幸せを最大にする、いわば「患者第一」ということに尽きます。それを単なるきれいごとで終わらせず、どうやって実現していくのか。それが最も大事だと考えています。

実現のためには、そこで働く人間も幸せにならないといけません。医師や看護師、技師などの医療従事者、事務方などのスタッフ、各々が喜びを持って働いていることが大切です。人によってやりがいや目的はさまざまなので、我々も考えながら努力している途中なのですが、まずは環境面で大学病院や地域を支える基幹的な病院に勝るとも劣らない態勢を整えることを考えています。この点については、これまでの道のりである程度は実現できたと自負しています。

医師や看護師といった医療職の皆さんには、専門技術を磨いていく機会を増やせるよう支援しています。その他の検査技師や事務方の皆さんにも、一緒に働いていく上で喜びを持ってほしい。直接的に患者さんを治すという行為に関わらなくとも、全員でイメージを共有してモチベーションを高めていければと考えております。



門前院長



新宿本院は、理事長がおっしゃったとおりつるかめ会で最初に開所し、徐々に大きくなってきました。私が6年前に院長に就任してからも、拡大・充実が続いています。

小金井やミラザ新宿にも共通するのですが、我々の大きな特徴として「総合診療のクリニックである」ということがまず挙げられます。多数の診療科を有しているほか、大学病院などから優れた先生方に来ていただいていることもあり、専門的でレベルの高い診療を行っています。また、数多くの健康診断を実施しているのも特徴のひとつで、それに

伴い内視鏡の実施件数も都内有数の実績を誇っています (P15参照)。

さらに、これも3クリニックに共通しますが、優れたアクセスも強みです。駅近の立地なので近隣の住民のみならず、多少遠方から来られる方にとってもたいへん便利です。新宿本院はターミナル駅近くということもあり、企業にお勤めの方々からも好評を得ています。



石橋院長

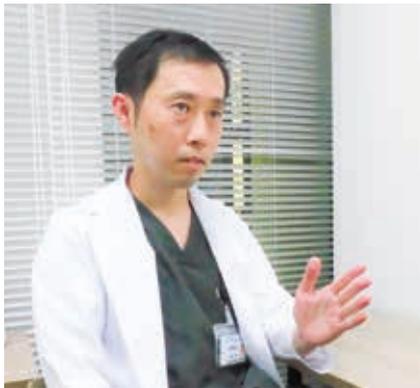
新宿本院とは異なる点として、小金井では地域密着というテーマを掲げています。地域にとっての小金井クリニックの役割を一言で表すと、「多摩地区における医療の砦として機能する」ということです。これは私がずっと言い続けていることであり、院長になって3年くらい経ちますが、この理念を常に柱としています。

「医療の砦」とはということかという、まずは困っている患者さんや受診者さんたちを最前線で診るということ。応急措置、トリアージ※ということですね。そしてできることであれば、我々のところで治療やその後のフォローまですべてやってあげたい。それが私の願いであり、小金井つかめクリニックのモットーです。

ですから、来院された方はなるべく全員診るということをスタッフに浸透させるよう努力しましたし、ドクターも意識して診療を行っているので、スタッフ全員のマインドとしてかなり染み込んできたかなと実感しています。これは常勤の医師だけでなく、非常勤の医師の皆さんにもご協力いただいた賜物だと考えております。

また、「この方は高次医療機関での治療が必要だ」と感じた患者さんが、すぐに治療を受けられるよう、各施設との連携を絶やさないようにしています。当院を入口として健康になりたいという受診者さん・患者さんが、最終的によいアウトカムを迎えられるように判断し、手配できる態勢を整えているというのが小金井の強みではないかと考えています。

※トリアージ  
主に緊急時に、どの傷病者から治療を行うかという優先順位を決定すること。



杉原院長

両院長と重なってしまう部分もありますが、当院の理念は何より「断らない医療」を実践することに尽きると考えています。来院された患者さんは、例えば骨折など専門外の場合や明らかに重篤で救急車が必要な場合であっても初期対応を必ず行う。時間外であっても、お困りで受診された方にはしっかり診療する。これらは医師としての責務であると思っています。

我々は新宿本院および小金井と比べて職員の数も少なく、時間帯によっては私一人で診療することもあります。いわば町医者としての一次診療も求められるわけですから、common disease※にしっかり対応できるよう、日頃から広い範囲の疾患に対して研鑽を積んでおります。

また、例えば逆流性食道炎等の疾患で定期的に通院している方はたくさんいらっしゃいます。そういう方には、漫然といつものお薬を処方するのではなく、「今年は健康診断を受けましたか?」「この病気はどちらに通院されていますか?」などの質問をよくします。ひとつの疾患だけを診るのではなく、患者さんの背景は健康、疾病の全人的なマネジメントもしっかり行わなければなりません。この点は常に心掛けております。

※common disease  
風邪や胃腸炎、皮膚の湿疹などのありふれた疾病。

## 時代とともに変化する各疾患への対応

### — 西元理事長

ご存知の通り、現代の医療においてはがんに対して積極的に取り組んでいく必要があります。進行がんは非常に治しにくく、場合によっては手遅れになってしまうケースもあります。我々は手術を行うという役割ではないのですが、できるだけ早期に発見して、高次の機能を有する病院へ紹介することを心掛けています。その一環として、健康診断でも法的に定められた検査項目を満たすというだけではなく、がんを発見できるような態勢を取りたいと考えて取り組んでいます。

## —杉原院長

がん診療においてもそうですが、最新の医療に関する情報をアップデートしていくことは必須の時代です。医師は一生勉強と昔からよく言われますが、これはまぎれもない事実です。肝臓がんの原因ひとつにしても、以前はC型肝炎、B型肝炎というウイルス性肝疾患がほとんどを占めておりました。近年は脂肪性肝炎を背景とした発がんが増えており、いずれはこの割合も逆転することが予想されます。刻一刻と変わる情報を常にアップデートし、診療に活かせるよう努力したいと思っております。

## —門前院長

先ほどお話したように、新宿本院では内視鏡を含めた健康診断をたくさん実施することを通して、がんの早期発見・早期治療に努めています。また、心不全や心筋梗塞、脳卒中といった心血管疾患の予防・早期治療にも力を入れています。

がんと心血管疾患は、人の健康を大きく損ない生命を奪う原因となる重要な2大疾患といえます。がんによる死亡数は日本人のおよそ1/3程度、心血管疾患はおよそ1/4程度を占めていますので、我々はそれら2大疾患の予防および早期発見・早期治療を重点的にやっていきたいと考えています。

私は循環器内科の専門医ですので、心血管疾患の分野に関しては、近隣の大学病院やその他の大きな病院と非常に密な提携関係を結んで協力しあう、いわゆる病診連携にも注力しています。研究会や講演会などを通じて緊密に連携を図っており、フェイス・トゥ・フェイスで医師同士やり取りができているのも大きなメリットです。その結果、早期に診断・治療を行いたい患者さんに対して、即時に高度な医療が提供できる病院を紹介できます。

## —石橋院長

近年の大きなトピックである新型コロナウイルス感染症についてですが、我々は近隣地域内で発熱外来を真っ先に立ち上げました。小金井つかめクリニックでは、多摩地区のニーズに必ず応えていくという方針があるので、来院できない方や遠方の方、またすでに罹患してしまった方に対してはオンライン診療をいち早く実施し、実際に機能しています。

コロナ禍における発熱外来はあくまで一例で、時代によってニーズは変わるはずですし、それを鋭敏に捉えて今後も新しいことに挑戦していきたいと思っています。

## —門前院長

循環器領域でいいますと、高齢化に伴って心不全で亡く

なる方が非常に増えています。年代によっては、がんよりも多いくらいです。これは「心不全パンデミック」と言われていて、コロナのパンデミックに匹敵するほどの大きな問題と考えています。

また、馴染みが薄い言葉かもしれませんがサルコペニア※およびフレイル※にも気をつけなければいけません。高齢になるにつれて体力・筋力が衰え、ADL(日常生活動作)※が低下してしまうケースも多いです。長く生きられる世の中になっても、元気に自分らしく活動できないのであればもったいないですから、そういった状態を防ぐことも医療にとって大きな命題になるかと思えます。

※サルコペニア

加齢により筋肉量が減少し、身体機能が低下した状態。

※フレイル

身体的・精神的・社会的な面で衰弱している状態。健康な状態と要介護の中間といえる概念。

※ADL(日常生活動作)

Activities of Daily Livingの略で、日常生活を送るために最低限必要な動作の指標(起床・食事・入浴など)。ADLが低下すると活動性も減り、さらなる心身の機能低下を招く。

## —西元理事長

付け加えると、今後重視される医療分野として老化、エイジングの分野は避けて通れない問題を提起していると思います。超高齢化社会とも呼ばれる日本ではとても根が深い問題で、解決するのはそう簡単ではありません。

具体的な病気としては、いわゆる生活習慣病として高血圧や脂質異常症、糖尿病など循環器系が問題になるケースが多いですね。がんの早期発見と同様に、外来でできることもたくさんあると思いますので、この分野にも力を入れて取り組んでいきたいです。

## 2022年の変化と目標

## —西元理事長

各クリニックの今年のトピックとしては、何かありますでしょうか。

## —門前院長

新宿本院では1月に診察室を増室しました。今までは3階に13室、健診がメインの4階にも4室あり、これだけでもクリニックとしては大きな規模でしたが、さらに3階に2室増えたので計19室になりました。診療科の数も増やせませすし、余裕がある分だけそれぞれの時間帯に多くの先生を揃えることもできます。そうすることで、患者さんに対して常に即時の相談ができるわけです。

各々の医師が高い専門性を持ってしっかりと診療を行っておりますが、一人の医師ができることには限界があります。他の診療分野、専門外の分野など、わからないことはどうしても出てくるので、すぐ近くにいる別の分野の専門医に相談することで、スムーズな治療に繋がられます。できるだけ早く治療を行って心配させる時間を少なくする、患者本位の医療を果たしていきたいと思っております。

また、受付カウンター・ナースステーション・処置室の改装も同時に行いました。患者さんにとってより快適で、安心して受診できるようなクリニックを今後も目指してまいります。

### ——石橋院長

小金井でも診察室を増室しましたので、特に午後の健診受診者さんをお待たせすることなくご案内できるようになりました。内視鏡検査に関しても、スタッフの増員や内視鏡スコープ等の設備投資を行っていますので、診られる患者さんの数が増えていくと想定しております。

本年の目標としては、私が3年前に来てからずっとやっていることなのですが、大学病院と同じように当院でも「臨床・研究・教育」という3本の柱を実践したいと思っています。ただ臨床をやるだけではなく、そこに研究というカラーを加えて世に出していく。そして、多摩地区だけではなく全国に小金井つるかめクリニックを知っていただく。その流れを通してドクターやスタッフの教育に繋げるという循環をつくることで、より成長していくというビジョンを持っています。

今のところ、その循環はうまくいっているのではないかと自負していますので、これからも続けられるように努力していきます。

### ——杉原院長

ミラザでは特に婦人科・乳腺科に力を入れております。2022年度には、火曜日午前も両診療科を増設することで、月曜から土曜まで毎日受診可能な態勢になります。レディースデーも引き続き定期的に設けていき、女性の患者さんにとって快適に受診できる環境を整えていきます。

そしてもう1点。ミラザ新宿つるかめクリニックは他2クリニックと比較し、とても小さなクリニックです。私と事務長が同時期に赴任したときに「とにかく職員が働きやすい職場環境を作っていこう」と決意しました。その思いは現在も変わっておりませんが、なかなか目標達成とはいかない現状です。職員がやり甲斐、働きやすさをもって生き生きと仕事ができることが、クリニック全体の雰囲気に繋がります。

定期的に職員とよくお話し、今年も少しでも改善できるよう心掛けていこうと思っております。

### ——門前院長

当クリニックだけではなく社会全体に関係する話ですが、短中期的なスパンで見ると、今年も引き続きwithコロナの生活様式が基本になるかと思っております。その中で患者さんの診療のマインドも変化していて、外出の機会が減ったことで「病院・診療所離れ」が起きています。このことは皆さんの健康にとっては間違いなくデメリットであり、コロナ以前より病気の発見や治療が遅れているというデータもすでに報告されています。

コロナウイルスによる被害は大きなものでしたが、長期的には、社会の変容によって受診の機会が減るため、別の疾患への対応が遅れて重症化や死亡を招くというケースのほうが大きくなるとも言われています。ですから、withコロナの時代はなおさら安心・安全に受診できるクリニックにしていかなければならないと考えています。健康上のご相談がある方は、ためらうことなく、ぜひ積極的に当クリニックを受診していただければと思います。疾患の予防や治療を通じて、患者の皆さまの健康寿命を伸ばすお手伝いができれば幸いです。

## 最後に

### ——西元理事長

ありがとうございました。各院長にはさまざまな工夫をこらして頂いて、とても心強い限りです。

現在の外来と健診を2つの軸としたやり方はうまくいっていると思いますが、長期的に考えると、いつまでもこのまま続くかどうかはわかりません。したがって早晚第3の軸を見つけていかなければいけないと考えていますし、各クリニックの環境もさらに改善していく必要があります。

そのためには、しっかりと経済的基盤を確立しなければなりません。もちろん現時点でも安定しておりますが、思い切ったチャレンジができるような土台を固めていきたいと思っております。

最後になりますが、リニューアルしたクリニックニュースでは、私たちがどんな思いを持って医療を行っているか、どうやって健康のために尽くそうと考えているかを伝えていければと考えております。そして、皆様からもご意見をいただいて、そこで対話が始めれば大変ありがたいと思っております。本年もどうか、何卒宜しくお願い申し上げます。



大都市・新宿を支え続けて30年以上。

健康の維持、病気の早期発見から最適な外来診療まで

一貫した医療サービスをご提供いたします。



## 新宿つるかめクリニック

### クリニックの特色

外来診療は17の診察室を構え、循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・呼吸器内科といった内科系の診療科に加え、乳腺外科・婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・泌尿器科・皮膚科といった特定の部位にフォーカスした診療科を開設しております。また漢方科の医師も多数在籍し、体質改善や未病段階での症状のご相談にもお応えしております。入院の設備こそありませんが、大学病院・総合病院に近いレベルの医療をご提供しています。

健康診断にも力を入れており、内視鏡診察室は5室を構え、1日90～100例の胃カメラ検査、15～20例の大腸カメ

ラ検査を実施しております。消化器系の早期がんの発見に努めており、手術や入院が必要となった方には、提携している大学病院・総合病院へご紹介を行っております。また、再検査や治療が必要となった場合も、当クリニックの外来診療で対応するため、他のクリニックを探す、再度不要な検査を受けるといった手間が省けます。健康診断からその後の外来受診まで、一貫した医療サービスを提供しております。



## 院長紹介



院長 門前 幸志郎  
もんぜん こうしろう

## 経歴

- 1995年 東京大学医学部附属病院第三内科入局
- 2002年 日本学術振興会特別研究員
- 2004年 東京大学医学部附属病院循環器内科助手など
- 2010年 山王病院内科・循環器内科／  
国際医療福祉大学臨床医学研究センター准教授
- 2015年 新宿つかめクリニック院長

## 認定資格

- 日本内科学会認定 総合内科専門医
- 日本循環器学会認定 循環器専門医
- 日本医師会認定 産業医
- 日本医師会認定 健康スポーツ医
- 日本スポーツ協会公認 スポーツドクター



## 私たちの強み

- 多くの診療科を構えており、「循環器内科と皮膚科」「糖尿病内科と眼科」のように、症状に合わせて複数の診療科を受診いただくことができます。
- 医師が他の診療科を受診した方がよいと判断した場合は、適宜院内紹介を行っております。院内薬局を構えているため、処方せんを持って院外薬局に行く必要もありません。
- 土曜日も平日と同様、夕方まで診療を行っております。仕事などで平日の受診が難しい方はぜひご利用ください。
- 健康診断では内視鏡検査に力を入れており、特に胃カメラ検査時の苦痛の軽減に努めています。鎮静剤・安定剤を用いて検査を行っており、「以前苦しい思いをした」「長年受けていない」という方がリピーターになってくださるなど、高い評価をいただいております。

## TOPICS

### 診察室を増設しました

耳鼻咽喉科の患者さんが増えてきたため、2021年10月から耳鼻咽喉科の診察室を2室に増設いたしました。また、今まで以上にきめ細かい医療をご提供するため、2022年1月から診察室を2室増設いたしました。

### 予防接種について

季節性インフルエンザや風疹・麻疹の予防接種、海外渡航前に必要な予防接種など、ワクチンの確保に努めております。また地域医療への貢献という観点から、新型コロナウイルスの予防接種も実施してきました（渋谷区の方針で、2021年10月末で一旦終了）。国産の新型コロナウイルスワクチンの開発にも、治験の実施機関として協力しています。



2018年、新宿駅中央東口から徒歩1分の地に開院。

「安心して相談ができるアットホームなクリニック」を目標に、

“断らない医療”を実践しています。

## ミラザ新宿つるかめクリニック

### クリニックの特色

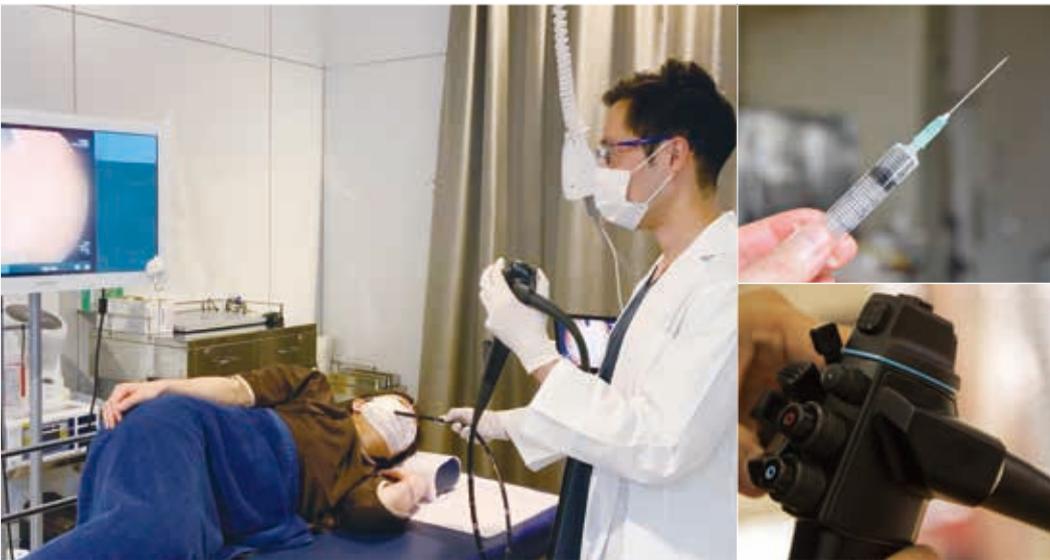
2018年に開院して以来、患者さんの不安や緊張をできるだけ取り除けるよう、コミュニケーションを大切にした診療を心がけています。

外来診療では、消化器内科を中心に女医が担当する婦人科、乳腺外科、その他にも糖尿病内科や血液内科などがあり、専門医も多数在籍しています。健診後の再検査や精密検査はもちろん、治療のための院内処方も充実しております。普段なかなか相談できない不安なことも積極的に伺ってお応えする診療を実施し、皆様の悩みを解消できるように心がけております。

また健康診断においては疾患の早期発見を目的に、胃

カメラと大腸カメラを同日に実施する「特別人間ドック」、企業で実施する事業者健診、事業者健診よりさらに精度を高めたスタンダード人間ドックと、皆さまのニーズに応えた健診コースを多数ご提供しております。また女性だけの健診日「レディースデー」も毎月開催し、リラックスして受診できる環境もご用意しております。

多くの方に受診していただけるよう、協会けんぽの健康診断や、新宿区・中野区の区民健診、また数多くの健康保険組合とも契約しており、地域密着型のクリニックとして皆さまの健康をサポートしております。



## 院長紹介



院長 <sup>すぎはら</sup> <sup>かずあき</sup> 杉原 一明

## 経歴

- 2008年 熊本大学附属病院消化器内科医員
- 2009年 済生会熊本病院消化器病センター医員
- 2012年 天草地域医療センター消化器内科医員
- 2016年 熊本労災病院消化器内科副部長
- 2019年 同 第三消化器内科部長
- 2019年 医療法人社団つるかめ会 入職
- 2021年 ミラザ新宿つるかめクリニック院長

## 認定資格

- 日本内科学会認定 総合内科専門医
- 日本消化器病学会認定 消化器病専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医
- 日本肝臓学会認定 肝臓専門医
- がん治療認定機構認定 がん治療認定医
- 日本プライマリケア連合学会指導医
- 臨床研修指導医



## 私たちの強み

- 患者さんの声に耳を傾け、ひとりひとりにあわせた診療を提供しています。
- 婦人科・乳腺科については女性医師と女性職員が対応させていただきます。
- 土曜日も終日診療を行っているほか、医師・スタッフ・受診者がすべて女性の「レディースデー」を毎月開催しています。
- 胃・大腸カメラの同日実施が可能です。また、鎮静剤を用いた苦痛の少ない内視鏡検査も導入しています。

## TOPICS

### 婦人科・乳腺外科のみ初診ネット予約可能

婦人科および乳腺科において、はじめての方でも気軽に申し込みができるネット予約を始めました。特に女性特有のトラブルに関することなど、なかなか口頭で予約しづらいときでも、安心してお手続きいただけます。

### ブログで情報発信をしています

患者さんが知りたい情報、知ってほしい情報をブログで発信しています。ぜひ当院ウェブサイトをご覧ください。



駅から徒歩1分の好立地。

多摩地区で随一の幅広い診療科と、  
抜群のチームワークで皆様の健康を支えます。

## 小金井つるかめクリニック

### クリニックの特色

多摩地域に根ざした総合クリニックを目指し、13年前に開院しました当院は、現在主力の消化器内科を中心に15診療科を擁しています。「こんな症状のときには何科を受診したらよいのだろう」と悩まれた経験はないでしょうか?当院では受診者の症状に合わせ、適切な診療科をご案内し診察・治療を行っています。

また、最近のクリニックでは大変珍しくなりましたが、受診者の利便性を第一に考え、開院当初から院内薬局を設置しています。コロナ禍において外出による感染拡大が懸念された際にも、接触機会を減らすことができる院内薬局は新

たな付加価値をもたらしました。加えて、新薬も早期導入ができることからウイルス性肝炎や炎症性腸疾患等に対する最新治療も積極的に行っています。

さらには、皆様が毎日健康で暮らせるよう健康診断にも力を入れています。ご存知の通り、健康診断の目的は「疾患の早期発見」です。当院では疾患の早期発見には検査の精度を上げることが最も重要と考え、各検査の判定は見識ある専門医が行っています。「疾患の早期発見」から「治療」までを一貫して行う総合クリニックとして、皆様のお役に立てるよう日々努力してまいります。



院長 石橋 史明

**経歴**

- 2010年 東京医科歯科大学で初期研修
- 2012年 都立墨東病院消化器内科
- 2014年 昭和大学横浜市北部病院消化器センター助教
- 2015年 東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科
- 2018年 新宿つるかめクリニック 消化器病センター
- 2019年 小金井つるかめクリニック院長

**認定資格**

- 日本内科学会認定 内科医・総合内科専門医
- 日本消化器病学会認定 消化器病専門医・支部会評議員
- 日本肝臓学会認定 肝臓専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・支部会評議員
- 日本消化管学会認定 胃腸科専門医
- 日本消化器がん検診学会会員
- 東京大学医科学研究所附属病院非常勤講師
- Member of American Gastroenterological Association (米国消化器病学会会員)



**私たちの強み**

- 多摩地区随一、15の診療科目を擁しています。すべての診療科は、その専門医が担当しています。
- クリニックとしては珍しく院内薬局を設置しています。
- 多くの高次医療機関との医療連携を行っています。
- 胃および大腸の内視鏡検査は、年間10,000件超の実績を誇っています。また、マンモグラフィ検診画像認定施設、総合健診医学会優良認定施設でもあります。
- スタッフのチームワークが自慢です。

**TOPICS**

- 2021年11月に、クリニックをリニューアルオープンいたしました。
- 外来処置室を拡張しました。
- 健康診断フロアに採血室を増設しました。
- 栄養指導、健康診断結果の相談ブースを増設しました。

# 人間ドックとは？



人間ドックは基礎的な健康診断の項目に、胃内視鏡検査や腹部エコーなど精密な検査をプラスした健診コースです。

協会けんぽなど多くの健康保険組合では年齢に応じて補助がございます。

(詳細は加入健康保険組合にご確認ください)

食事や生活の制限もございますが、病気の早期発見のためにお勧めしております。

他にも様々なコースと、オプションとして追加できる検査が多数ございます。詳しくはHPをご覧ください。

## 一日の流れのご紹介

※検査内容の順番は前後する可能性がございます。

### 前日の夜



食事は午後9時まで。  
飲酒は血液、尿検査などに影響を及ぼすためお控えください。

### 当日の朝



朝は絶食で水かお茶を飲みます。  
忘れずに採尿を行います。  
胃内視鏡の検査を受ける方は鎮静剤の影響を考慮し、車や自転車は使わずにクリニックへ向かいます。

### 腹部エコー検査など



エコー検査などの画像診断で体内を診察します。

### 胃内視鏡検査



鎮静剤で負担を減らして、楽に胃内視鏡を行います。(約5分)

### つるかめクリニックの内視鏡では…

- 胃内視鏡と同日に大腸内視鏡検査も行うことができます。(要事前予約)
- 内視鏡の専門医が実施します。
- 別途料金なしで鎮静剤を使った検査を受けることができます。

## 実例 60代男性、個人で受診の場合

お申込み内容… [人間ドック] コース (46,000円 + 税)

※所要時間… 約4時間 結果作成期間… 約3週間

- ・内科診察
- ・身体計測
- ・胃内視鏡検査
- ・腹部エコー検査
- ・眼科検査
- ・聴力検査
- ・便検査
- ・尿検査
- ・呼吸器検査
- ・循環器検査
- ・胸部X線検査
- ・血液検査

### 来院



受付で自宅で採取した尿を提出。  
検査着を受け取り、検査内容にあった服装に着替えます。

### 検査開始



健康診断と同様に、基本的な計測や血液検査を行います。

### 問診



医師の問診です。気になる症状や普段の生活についてお答えください。

### 検査終了



受付でお会計をします。  
支払いの有無が不明でしたら受付にご確認ください。

### 結果郵送



お疲れ様でした。  
約3週間後の到着をお待ちください。

### 結果到着



結果に「要再検査」や「要治療」の項目があった場合は、当院の外来専門医が対応いたします。

# 外来のご紹介



## つるかめクリニックの外来の特色

- 3クリニック合わせて180名の専門医が所属
- 総合病院並みの専門診療科  
(多数の専門医の知見で患者さんの症状にアプローチ可能)
- 入院・手術が必要になった場合も、  
症状に合わせて大学病院・総合病院を紹介可能

豊富な選択肢から、あなたに最適な治療をご提案いたします。

「どの診療科にかかればよいかわからない…」という方も、

ぜひ気軽にご来院ください!

### 事例1 40代女性

症状



めまいに悩み、近所の内科を受診して薬の処方を受けたが改善しない

つるかめ会  
総合内科



血圧・血液検査、心電図、頭部CTを実施するがどれも異常なし

つるかめ会  
耳鼻科



専門医を受診。問診および聴力検査・眼振検査\*の結果、良性発作性頭位めまい症(BPPV)であることが判明

\*赤外線CCDカメラ付きゴーグルをかけ、暗視野として頭位変換を行いながらする検査

結果



理学療法を実施し、ご家庭でもできるリハビリ運動もご案内。症状緩和のため補助的に院内薬局で薬を処方

### 事例2 50代男性

症状



コロナ禍のリモートワークで肥満体形となり、家族の勧めもあり受診

つるかめ会  
総合内科



血圧・血液検査の結果、血糖値および中性脂肪が高いことが判明

つるかめ会  
糖尿病代謝内科



専門医を受診。軽度の糖尿病・脂質異常症と診断

結果

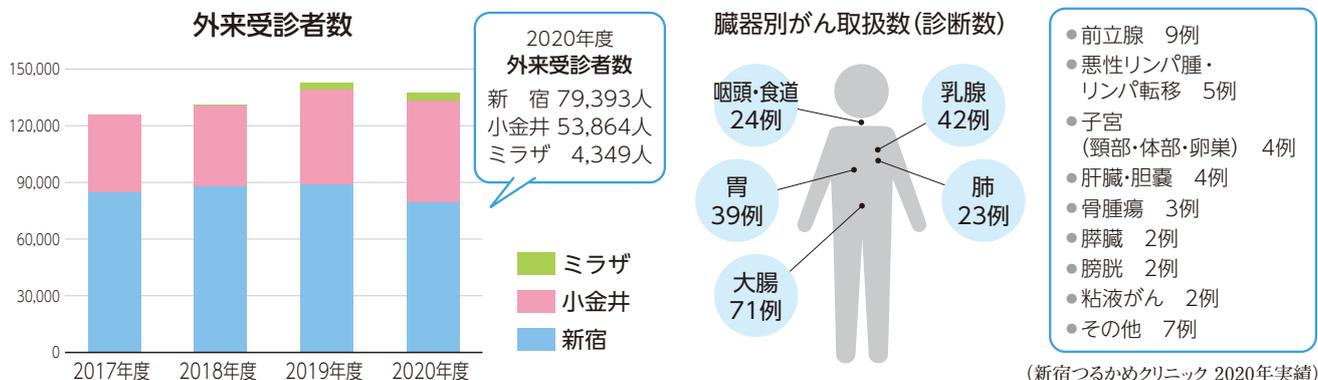


食事・生活習慣の見直しを指導。院内薬局で薬を処方し、1ヶ月後に経過観察で再受診予定

# 外来実績

## 身近で質の高い「総合クリニック」を目指して

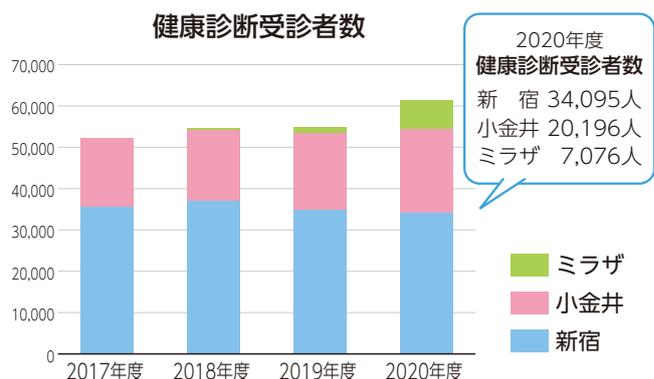
- 消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、呼吸器内科、漢方内科、婦人科、乳腺外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、整形外科など多数の専門領域をカバーしています。
- 大学病院・総合病院との提携も多く、入院等が必要な場合はスムーズにご紹介できます。



# 健康診断実績

## 健康診断による疾患の「早期発見」を モットーに

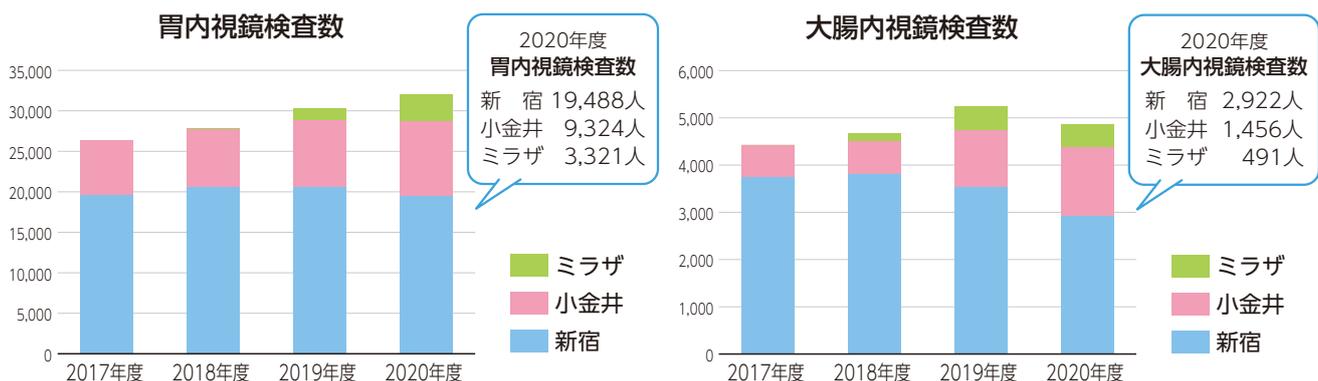
- がん、心血管系疾患、加齢に基づく疾患などの早期診断、早期治療が可能です。健康診断で異常があった場合や症状のある方はそのまま外来診療にご案内できます。
- 日帰り健康診断件数は年間約60,000件。



# 消化器内視鏡実績

## 検査精度と安全性を兼ね備えた「内視鏡検査」

- 胃内視鏡、大腸内視鏡は多数在籍する経験豊富な専門医が実施し、同日に両方とも検査できます。年間実績35,000件以上。
- 鎮静剤を使用した苦痛の少ない検査を実施します。



# 3クリニックのご紹介

各クリニックとも天候に左右されない駅近くの好立地です。  
安心してご来院ください。

\*クリニックニュースは当院ホームページでご覧になれます。

## 新宿つるかめクリニック

〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-11-15  
新宿東京海上日動ビルディング3・4階

- JR新宿駅 南口から甲州街道を初台方面へ徒歩5分
- 都営大江戸線・都営新宿線・京王新線 新宿駅6番出口直結

代表・外来予約

TEL 03-3299-0077

FAX 03-3299-4985

月曜日～土曜日  
8:30～18:00

健診予約専用

TEL 03-3299-8900

FAX 03-3299-4985

月曜日～土曜日  
8:15～17:00

HPはこちら



## ミラザ新宿つるかめクリニック

〒160-0022  
東京都新宿区新宿3-36-10  
ミラザ新宿7階

- JR・小田急線 新宿駅中央東口から徒歩1分
- 都営大江戸線・都営新宿線 新宿駅1番出口から徒歩5分

外来・健診予約

TEL 03-6300-0063

FAX 03-6300-4114

月曜日～土曜日  
8:15～18:00

HPはこちら



## 小金井つるかめクリニック

〒184-0004  
東京都小金井市本町6-14-28  
アクウェルモール3階

- JR中央線 武蔵小金井駅南口から徒歩1分

代表・外来予約

TEL 042-386-3757

FAX 042-386-7390

月曜日～土曜日  
8:30～17:30

健診予約専用

TEL 042-386-3737

FAX 042-316-7794

月曜日～土曜日  
8:30～17:00

HPはこちら

